



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/setogaya/

学校だより 6月号
令和2年6月1日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 松永 淳子
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索

再開は再会

校長 松永 淳子

紫陽花の花が雨に映える季節となりました。

5月の中旬より、瀬戸ヶ谷小学校の校庭の紫陽花に花芽がつき、少しずつ大きくなり始めていました。この花に色がつき、美しい花を咲かせる頃には緊急事態宣言が解除され、学校が再開されますようにと紫陽花の前を通るたびに願いをこめていました。その願いがやっと叶う時がきました。

保護者の皆様には、ここまで本校の度重なる教育活動の変更にご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて「新しい生活様式」が公表され、私たちは今までに経験のしたことのない生活を送らなければなりません。子どもたちも多くの変化に順応し、ここまで過ごしてきたことと思います。3月より学校の臨時休業がスタートしてから本日まで、保護者の皆さまにおかれましては、大変なご苦労があったことと存じます。学校再開後も本校では、学校生活における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル「学校の新しい生活様式」に基づき、子どもたちの健康と命を守るために努めてまいります。

本日より子どもたちの学校生活が再開されました。一足早く再開された地域からは、子どもたちの喜びの声が届けられています。「先生や友達と勉強ができてうれしい。」「早くみんなと給食が食べたい。」「友達と遊べて楽しかった。」等です。子どもたちは何といても友達や先生という人との再会、そこから生まれる多くの活動から、たくさんの喜びを見出しています。学校生活の素晴らしさは、「人」とのつながりから自分自身を成長させることができることです。目標に向かっていく過程で困難に打ち勝ち物事を成し遂げた時、そこには必ず友達の存在があります。親友、ライバル等いろいろな言葉で表現されますが、友達の存在があるからこそ成し得ることが多くあり、達成感を味わうことができるのです。友達の力は偉大です。今回の臨時休校は、子どもたちばかりでなく、私たち教職員にもそのことを改めて感じさせてくれる貴重な時間となりました。

再開後は友達との触れ合いの時間を大切にしながら学習を進めていきたいと考えております。そして、今年度は限られた時間を有効に活用し、子どもたちに大きな力を身に付けさせることが私たち教職員に求められている課題であると考えております。そのために教職員は臨時休業中も教材研究や教材の開発に全力を投じてきました。まだまだ先が見通せず、油断はできませんが、子どもたちが学習中「分かる、できる」を実感でき、学校生活の楽しさを感じることができるよう努めてまいります。6月は既にお知らせをしている通り、感染防止に配慮しながら、分散登校からのスタートとなります。いつもの学校生活のリズムに戻るまでには少し時間がかかりますが、慌てずしっかりと生活の基盤を作っていきたいと考えております。

保護者の皆様におかれましては、子どもたちが規則正しい生活を送り、健康に過ごせるよう引き続き健康観察票の記入やマスクの着用へのご協力をお願いいたします。また、守る会を始め地域の皆様には、子どもたちが安全に生活を送ることができますよう、引き続き見守り活動へのご協力をよろしくをお願いいたします。

